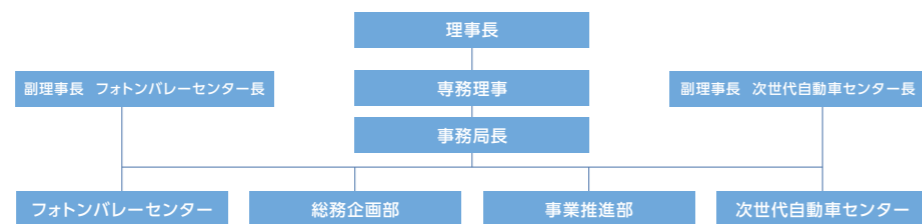


■ (公財)浜松地域イノベーション推進機構 概要・沿革

設立	昭和56年(1981年)3月
代表者	理事長 長田繁喜
基本財産 (出捐金)	605,700千円(浜松市71%、静岡県9.9%、その他:19.1%) ※令和8年4月現在
沿革	昭和56年(1981年) (財)ローカル技術開発協会を設立 昭和58年(1983年) (財)電子化機械技術研究所を設立 平成3年(1991年) (財)ローカル技術開発協会と(財)電子化機械技術研究所を統合、 (財)浜松地域テクノポリス推進機構と改称 平成19年(2007年) はままつ産業創造センターを開設 平成21年(2009年) (財)静岡県西部地域地場産業振興センターを統合 平成24年(2012年) (財)浜松地域テクノポリス推進機構とはままつ産業創造センターを統合、 (公財)浜松地域イノベーション推進機構として新たにスタート 平成29年(2017年) フォトンバレーセンターを設置 平成30年(2018年) 次世代自動車センターを設置
機関認定	認定経営革新等支援機関(経済産業省所管) 標準化活用支援パートナー機関(経済産業省所管) (一社)静岡県発明協会の知財総合支援窓口浜松支所

組織図



公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構は

産業支援のコンシェルジュです。

未来を拓く中小企業を応援します。

公益財団法人  
浜松地域イノベーション推進機構  
Hamamatsu Agency for Innovation  
<https://www.hai.or.jp/>



〒432-8036 静岡県浜松市中央区東伊場2-7-1  
浜松商工会議所会館8階  
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100  
E-mail:info@hai.or.jp



2026年度 HAMAMATSU AGENCY FOR INNOVATION

県西部広域版

県西部地域の  
ものづくり企業のための

# 支援施策 ガイド

【活用事例付】



メールマガジン配信

中小企業に対する補助金制度等の支援情報を毎月2回無料で配信しています。  
是非ご登録ください▶ <https://www.hai.or.jp/mailmaga/>

2026年4月発行

公益財団法人  
浜松地域イノベーション推進機構  
Hamamatsu Agency for Innovation

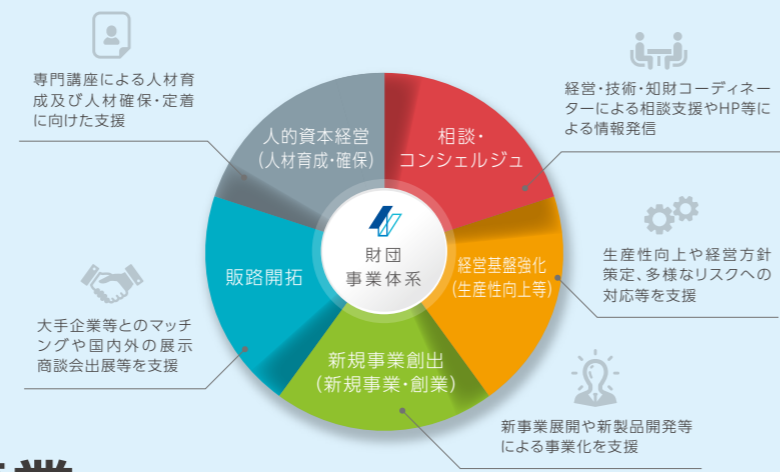


2026年度  
財団の  
事業方針

# 未来を拓く、がんばる 中小企業を応援します。

(公財)浜松地域イノベーション推進機構は、浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関として、中小企業に対する産業支援施策に取り組んでいます。支援地域は県西部エリアとし、当財団が産業支援のコンシェルジュとして中核的な役割を担いながら、地域の行政機関を中心に産学官金を連携させ、地域全体として効率的・効果的な産業支援を行うことで中小企業の持続的発展を目指します。

- ### 2026年度の重点施策
- 生産性向上支援(基盤強化とリスク回避)
  - 稼ぐ力創出支援(構造改革)
  - 人的資本経営支援(人材確保・育成)
  - 光・電子技術活用プロジェクトの推進
  - 次世代自動車産業に対応した新事業展開支援



## 広域連携推進事業

静岡県西部地域の「ものづくり産業」の持続的な発展を目指し、静岡県及び県西部8市町の行政機関と連携し、人材育成事業やマッチング支援等の施策を通じて、地域製造業者への支援体制を整えています。まずは、当財団または各市町の相談窓口へお気軽にご相談ください。 ※支援メニュー及び各市町の相談窓口はP8~P11参照  
〈広域連携参画団体〉 静岡県、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町

## 広報支援

財団HPには、各種支援メニューや国・県・支援機関等の最新情報を掲載。また、中小企業の広報活動に関する支援(経済記者クラブへの投げ込みやニュースリリースの作成)も実施しています。

メールマガジン配信 支援情報や補助金制度等の最新情報を定期的に受け取りたい企業担当者様は、財団メールマガジンへ登録ください。 <https://www.hai.or.jp/mailmaga/>

### 支援施策ガイド2026年「支援メニュー一覧」

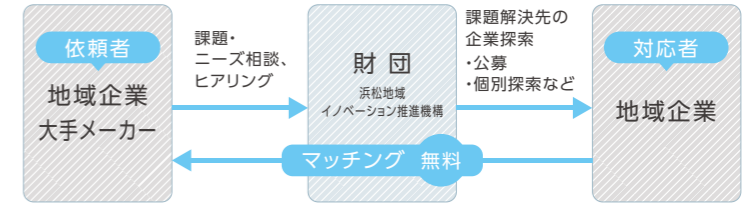
支援メニュー	対象 中小企業	ページ
広報支援	県西部地域 中小企業	P2
販路開拓支援		P3
経営基盤強化支援		P4
人的資本経営支援		P5
新規事業創出支援		P5
西部市町行政機関	各市町 中小企業	P9~11
国・県・支援機関	静岡県全域 中小企業	P12~23
フotonバレーセンター	静岡県全域 中小企業	P6
次世代自動車センター		P7

●その他の支援メニュー等は財団HPをご覧ください。 ※掲載内容は2026年4月1日時点の情報で、予告なく変更となる場合がございます。

## マッチング支援

課題解決! 企業間マッチングを無料サポート!

地域中小企業の両利きの経営促進を図るため、大手企業等とのマッチングの機会を提供し、既存取引先以外の獲得や新分野への展開など、新たな販路開拓・受注獲得などに向けた支援とともに、技術相談も含めた企業間マッチングを伴走支援します。



### 大手企業等との技術マッチング商談会(随時)

輸送用機器のみならず、様々な産業の大手メーカー企業等が取り組んでいる技術や製品開発などで抱える課題に対して、浜松地域の優れた技術力を持つ中小企業(受注企業)とその技術を求める大手メーカー企業(発注企業)との受発注型マッチング商談会等を開催し、地域製造業者の販路拡大をお手伝いします。

大手企業 マッチング支援実績	支援実績
●ダイキン工業(空調機器)	●日立建機(建設機械)
●浜松ホトニクス(光学機器)	●ミネベアミツミ(電子機器)
●大成建設(建設)	●(株)常光(医療機器) など

### ビジネスアイデア創出マッチング会(随時)

地域中小企業の特徴ある技術を大企業に提案し、大企業の持つ潜在的なニーズの掘り起こしと課題解決を図るとともに、協業による新事業展開を促進します。

### 大手企業内展示商談会(2026年7月・12月予定)

経営支援NPOクラブ(東京都)と連携し、輸送用機器製造で培った技術と親和性が高い産業分野(半導体、医療機器、産業機関等)の大手企業内でプライベート展示会を開催します。(出展社数:各回15社程度)

### 支援機関等連携マッチング

行政機関や金融機関等と連携して大手企業等とのマッチング機会を設け、取引拡大及び新事業展開を促進します。  
●ビジネスマッチングサイト「ジェグテック」活用説明会(2026年4月) ※連携機関:(独)中小企業基盤整備機構  
●支援機関等連携個別マッチング会(随時) ※連携機関:はままつ首都圏ビジネス情報センター

### 活用事例 株式会社ユーエス (浜松市中央区)

#### ビジネスマッチング

株式会社ユーエスでは、医療機器・電子楽器・蓄電装置を中心に様々な業界での精密板金加工を行っています。試作~量産のあらゆる場面で、多品種少量から一貫生産対応可能を当社の強みとしております。新規分野への展開は当社の課題の一つであるため、様々な業界ニーズに積極的に対応してまいりました。そんな折、農業機械の部品製作を財団スタッフの方からご紹介いただき、難しい案件ではございましたが、弊社の技術でご希望にお応えできると判断し、面談の機会を頂戴しました。その後、当社でご注文を承る運びとなりました。財団からの情報提供によって、協業機会を得られたことに深く感謝いたします。



### 販路開拓コーディネート支援 広域事業

優れた新製品・新技術を持ちながら、単独での販路開拓が困難な地域中小企業を対象に、中堅・大手企業への販路開拓の足掛かりとなるマッチングを専門家(経営支援NPOクラブ)とともに伴走支援します。

募集期間	2026年4月~6月頃	対象者	県西部地域の中小企業
支援の流れ	①公募(2社)、②書類審査・個別面談等で支援企業を決定、③企業訪問により自社の特徴や強みの確認を行いプレゼン資料のブラッシュアップを支援、④大手企業等とマッチング(個別面談2社)を実施		
企業負担金	30,000円		

## 原価管理実践支援

広域事業

物価高騰が続く中、中小製造業にとって必要不可欠な原価計算のスキルを身に付けて、コスト削減や価格交渉に対応できるように原価管理を実践する取り組みを支援します。

### ■ 原価管理の基本セミナー (2026年5月)

中小製造業における原価管理の重要性や必要性を理解し、具体的なコスト削減や価格交渉への活用について事例を交えて紹介します。

対象者	原価管理による利益改善に関心のある中小製造業者		
参加費	無料(県西部地域以外の企業は1,000円)	定員	50名

### ■ 原価計算ワークショップ (2026年7月)

中小製造業のモデルケースを基に、実践的に原価計算の手法を学べるワークショップを開催します。

対象者	製造原価責任者等		
参加費	3,000円(県西部地域以外の企業は6,000円)	定員	15名

### ■ 原価管理実践支援 (2026年4月～2027年2月)

製造業の原価管理に知見を有する専門家を派遣し、中小企業のコスト削減等による利益改善の取り組みを支援します。

参加費	1回33,000円の半額負担(最大5回) ※5社程度
-----	----------------------------

## 経営力強化支援

広域事業

既存事業の見直しや新規事業を展開する上で、中長期的な視点に立った経営方針や事業計画の策定が必要になります。経営方針や事業計画の策定について財団スタッフが伴走支援します。

### ■ 生成AI活用型 実習付き経営方針策定講座 (2026年7月)

生成AIを活用した経営方針の策定について、効果的な活用ポイントや留意点などを解説するとともに、実習を通して生成AIの活用方法を体験する講座を開催します。

会場	①財団セミナー室、②県西部地域の公共施設等		
対象者	生成AIを活用した経営方針策定に関心のある中小製造業者		
受講料	無料(県西部地域以外の企業は1,000円)	定員	各回20名

### ■ 経営方針策定伴走支援 (通年)

財団技術コーディネーターを中心に、中小製造業者の技術の棚卸から強みの把握等をサポートし、生成AIも活用しながら国(知的財産戦略本部)が提唱する「経営デザインシート」を用いた経営方針策定に対する支援を行います。

対象者	経営ビジョンを作成したい地域の製造業者(経営者と若手幹部の参加が望ましい)
内容	①自社技術の棚卸、②強みとなる技術の把握、③経営デザインシートの作成までを財団技術コーディネーターが伴走支援します

### 活用事例 有限会社ミス (磐田市)

#### 災害対応の具体化と強化

有限会社ミスは、病院への給食調理受託および保育所「にじいろ保育所」の運営を行っています。近年、各地で自然災害が相次いでいる事を受け、当社では子供たちの安全を最優先で確保するため、「専門家派遣制度」を活用した職員の防災研修を実施しました。専門家の指導の下、防災対策の基礎知識のみならずハザードマップに基づいた具体的な災害想定や対応について職員間で共通認識を形成することができました。今後はBCPの策定を視野に入れ、不測の事態においても的確に対応できる組織づくりを追求していきます。



## 人材育成支援

広域事業

### ■ 製造中核人材育成講座 (2026年5月～11月)

将来会社の中核を担う製造現場のリーダーに必要な幅広い製造知識、生産技術、品質管理、経営の視点などをトータルで習得する人材育成講座を開催し、先進的な企業の現場見学等を通して新たな視点を身に付け、自社の改善へと繋げていただきます。(全24回講座)

対象者	将来会社の中核を担う工場長や次世代経営者、若手・中堅技術者		
受講料	50,000円(県西部地域以外の企業は100,000円)	定員	16名
募集期間	2026年4月～5月中旬		

## 現場力向上支援

広域事業

生産現場のリーダー層を対象に、現場の改善活動に関する知識・ノウハウを体系的に学ぶとともに現場マネジメントに必要な心構えを身に付ける講座を開催し、現場改善の実践を通じた生産性向上の取り組みを支援します。

### ■ 現場改善セミナー (2026年8月)

中小企業の現場改善に今後必須となるデジタル化を含め、カーボンニュートラルや生成AI活用など注目すべきテーマを取り上げ、現場力向上に向けた取り組みについて解説します。

### ■ 改善推進スクール

生産リードタイム短縮や生産性向上など、現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成するための講座を開催します。現場改善の基礎から、社内での展開の方法までを体系的に学ぶことができます。

開催時期	2026年①7月～8月(基礎講座:全5回)、②11月～12月(実践講座:全3回)		
対象者	中小製造業の現場リーダー、幹部候補者		
受講料	10,000円(県西部地域以外の企業は20,000円)	定員	①②各20名

### ■ 工場管理者向けマネジメント講座

中小企業の工場管理において、工程全般を見通して必要とされる知見を講義や演習、グループワークを通じて身に付けます。

開催時期	2026年9月～10月		
対象者	中小製造業の工場管理者(管理候補者)		
受講料	6,000円(県西部地域以外の企業は12,000円)	定員	10名

### ■ 現場改善実践支援 (2026年6月～2027年2月)

県西部地域の中小製造業者を対象に、現場改善に精通した専門家を派遣し、課題解決に向けた取り組みを支援します。

参加費	1回16,500円(最大5回) ※3社限定
-----	-----------------------

## 競争的資金活用支援

広域事業

中小企業者等が新技術開発や経営基盤強化を図るための手段として、国・県・市町の競争的資金を効果的に活用するために、当財団がワンストップでサポートします。

### ■ イノベーションアクション支援 (通年)

国等の研究開発型補助金獲得に向けて、技術課題の明確化や解決方法の探索を当財団の技術コーディネーターが中心となり、伴走支援を行います。

### ■ 補助金獲得支援セミナー (2026年4月14日)

2026年度の経済産業省等が実施する各種補助金について、制度の概要や活用ポイントについて説明します。

### ■ 研究開発推進のための補助金活用セミナー (2026年12月予定)

※事業の詳細はP13参照

◎各種補助金獲得に向けた個別相談は随時受け付けます。

# フotonバレーセンター の支援メニュー

## フotonバレーセンター事業

フotonバレーセンターの目的は、フォトニクス技術、電子技術、あるいは情報技術など、この地に集積している「知」を活用して、ものづくり、流通、農林水産業などあらゆる既存産業の高度化、生産性向上、横展開の推進を図るとともに、新規事業、新産業を育成してゆくことです。地域の大学、研究機関、異業種企業などの「知」を繋ぎ合わせて、世界的拠点としてのネットワークを構築し、地域企業の活性化に向けた役割を果たしていきます。



### ■ 支援メニュー

コーディネーターによる支援	技術コーディネーターが企業の悩み事をお伺いし、光・電子技術を活用した解決策を提案します。当センターで解決できない場合は、ほかの支援機関や外部の専門家を紹介します。また、技術情報ははじめセミナーや補助金の情報も提供します。
各種セミナー	「光・電子技術」の有用性・有望性を学ぶ基礎的な内容から、中小企業と光技術のマッチングを担う人材育成に関するもの、理数系高校生向け講義、医療機器分野への進出を目指す企業向け講座など多様なセミナーを実施しています。 ①参入啓発セミナー(県西部8市町にて開催) ②ひかり塾 ③ハイスクールひかり塾 ④健康医療分野のセミナー
補助金	光・電子活用チャレンジ事業費補助金(補助率1/2、上限額200万円) 中小企業における光・電子技術を活用した製品作りに向けた試作品の製作や、開発した製品の市場導入に向けた評価や試験、改良等の取組に対してその経費を補助します。
販路開拓	静岡県内外で開催される展示会で当センターブースを設営し、企業に製品出展の場を設けます。 (過去出展実績) OPIE、Photonix、産業振興フェアinいわた など
海外展開	海外での技術プロモーションの機会を創出するため、各国で開催されている光・電子技術をテーマとした展示会への出展を支援します。また海外の研究機関と連携したセミナー及びワークショップを開催します。

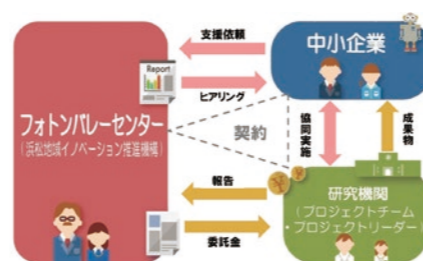
### ■ A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

中小企業におけるイノベーションの加速と業績拡大及び地域全体の振興を目的とした、国内初の産学官金連携の支援スキームです。中小企業が直面する課題解決のためのプロジェクトチームを大学や研究機関、金融機関で結成し、それらの持つ優れた知識・技術・情報・設備を支援の要とした光・電子技術の活用により、技術的課題、経済的課題への早期解決に取り組んでいきます。

A-SAP概要		
対象者	静岡県内中小企業者	委託上限 1プロジェクト500万円
事業期間	6ヶ月	募集時期 年4回(5月、8月、11月、2月)
対象事業	(1)新製品の開発に向けた試作品の製作 (2)新製品・サービスの開発に向けた設計 等 ※いずれも光・電子技術 及び 大学等の知見を活用するもの	
応募方法	HPにあるエントリーシートに必要事項を記入して提出	

〈A-SAP専用サイト〉 <https://www.hai.or.jp/pvc/asap/>

◎A-SAP活用事例は「フotonバレーチャンネル」へ



・A-SAPは補助事業ではなく委託事業です。  
・プロジェクト実施にあたりフotonバレーセンター(財団)・研究機関・支援依頼企業の三者が契約を締結します。

お問い合わせ先

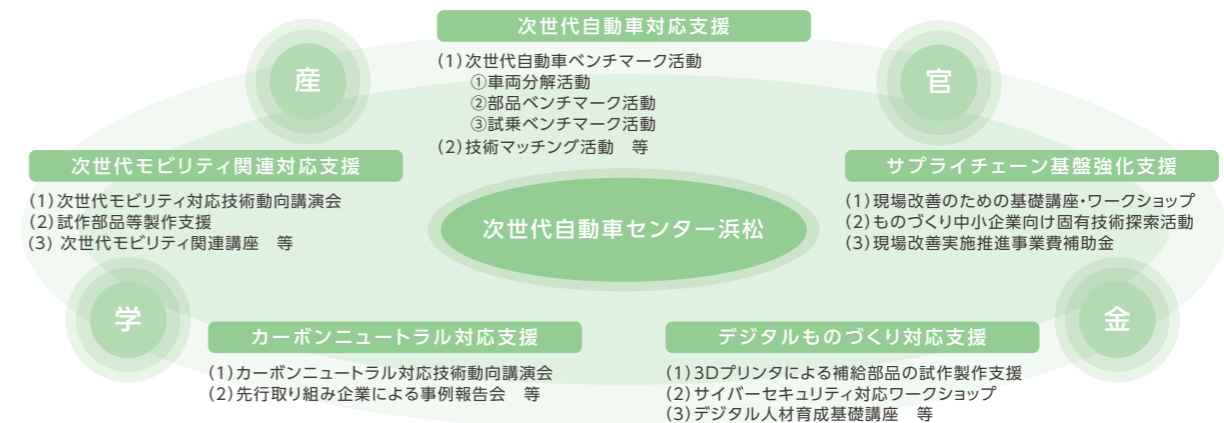
フotonバレーセンター(静岡大学浜松キャンパス内 イノベーション社会連携推進機構204)  
☎053-471-2111 <https://www.hai.or.jp/pvc/>

# 次世代自動車センター浜松 の支援メニュー

## 次世代自動車センター事業

次世代自動車センター浜松は、輸送用機器産業の技術革新に伴い進化し続ける車と社会の融合=SDV(Software Defined Vehicle)による自動車ビジネス産業の変化を見据え、これまで推進してきたCASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)やマルチパスウェイ(合成燃料や燃料電池車等)による次世代自動車への対応、次世代モビリティ関連対応、カーボンニュートラルやデジタルものづくり対応、現場改善によるサプライチェーン基盤強化対応の5つの支援項目に基づき、地元完成車メーカー及び地域支援機関との連携によりワンストップで支援します。(次世代自動車センター会員:517社 ※2026年2月末現在)

地域中小企業の「固有技術(加工技術)」を活かし、次世代自動車等に搭載する部品を製造することで、ビジネスを獲得できるように5つの支援体系に基づき中小企業を支援します。



### 【部品ベンチマーク活動】

新たな部品の試作に取り組んでいただくための情報提供として、欧州や欧米及び中国等の多様な電気自動車などの部品を分解・展示し、会員企業の試作製作や工法開発を促進させるため、浜松商工会議所会館1階に「ベンチマークルーム」を設置しています。



### ■ 「次世代自動車センター浜松」会員制度について

まずは、次世代自動車センター浜松へ会員としてご登録ください。技術開発から人材育成、販路開拓まで、センターが幅広くサポートします。

入会資格	①静岡県に製造拠点等がある中小企業で、当センターの事業に賛同する自動車関連企業または自動車関連産業に参入を希望する企業 ②静岡県外であっても、県内完成車メーカーと取引があり、当センターの事業に賛同する自動車関連企業
年会費	・中小企業 12,000円(税込) ・大企業 60,000円(税込) ※10月~1月入会の場合は、会費が半額となります ※一部事業の実施に伴い、別途負担金を徴収する場合があります
入会方法	当センターHPより必要書類をダウンロードし、お申し込みください <a href="https://www.hai.or.jp/evc/">https://www.hai.or.jp/evc/</a>

お問い合わせ先

次世代自動車センター浜松(公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構内)  
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/evc/>



# 静岡県西部市町の支援メニュー

静岡県西部地域の行政機関(浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・御前崎市・菊川市・森町)では、地域の産業振興を推進するための支援メニューを多数ご用意しており、地域の製造中小企業者に役立つ支援施策の一部をご紹介します。支援メニューの詳細やその他の支援施策については、各市町の窓口までお問い合わせください。

また、(公財)浜松地域イノベーション推進機構では、各市町との連携による広域連携推進事業を展開しています。

広域連携における各種事業に関するご相談は  
当財団(☎053-489-8111)までお問い合わせください。



## 〈広域連携推進事業〉

広報支援	P2	情報提供(HP、メールマガジン、ニュースリリース作成支援等)
マッチング支援	P3	大手企業×地域企業、地域企業×地域企業などの企業間マッチング
原価管理実践支援	P4	原価管理の基本セミナー、原価計算ワークショップ、伴走支援(専門家派遣)
経営力強化支援	P4	経営方針策定講座、経営方針策定伴走支援
人材育成支援	P5	製造中核人材育成講座 ※全24回講座
現場力向上支援	P5	現場改善セミナー、改善推進スクール、管理者向けマネジメント講座、伴走支援(専門家派遣)
競争的資金活用支援	P5	補助金獲得支援セミナー、研究開発促進のための補助金活用セミナー イノベーションアクション支援(補助金を活用した技術的課題解決の伴走支援)

## 活用事例 株式会社エフワイケー (磐田市)

### スマートものづくり支援デスクの活用

株式会社エフワイケーは、主に自動車関連の試験装置や省力化設備の設計・製造を行う会社です。業務のさらなる効率化のため、近年話題となっている生成AIを取り入れてみよう、「スマートものづくり支援デスク」のアドバイザーによる支援を受けました。この伴走型の支援により、今では資器材や図面の管理、議事録の作成など、幅広い業務で生成AIを活用することができるようになりました。



## 活用事例 株式会社エンコース (浜松市中央区)

### 消費電力測定による省エネの推進

株式会社エンコースは、ボール盤・タッピング盤のメーカーで、他に請負加工としてプレス加工、熱処理、金型製作、アッセンブリーを行うものづくり企業です。現在、組織を再編し現場改善等の活動を進めている中、エネルギー削減に取り組みたいと考え「はままつ脱炭素経営支援デスク」へ相談。脱炭素経営支援員による工場の使用電力データ等を基にヒアリングと現場確認後に消費電力を計測。結果、使用設備のコンプレッサー3台⇒2台への集約化とエア漏れ対策の提案を受けました。実行後の計測結果は、使用電力を約50%削減できたことがわかりました。今後も省エネに取り組みながらカーボンニュートラルを推進していきます。



## 磐田市

### ■ 販路開拓支援補助金

対象者	磐田市内に事業所、営業所又は生産地を有する中小企業者等 ※市税を滞納していないことが条件となります ※交付を受けることができる回数は1年度当たり1回とし、かつ3年間で2回までとなります
対象事業	①販路開拓事業 新たな販売先を創出する取り組みに係る費用を補助します ②展示会出展事業 展示会等に出展する取り組みに係る費用を補助します
支援内容	〈補助率及び補助上限額〉 ①補助率：1/3、補助上限額：30万円 ②補助率：1/3、補助上限額：国内展示会10万円、国外展示会30万円
募集期間	2026年4月1日(水)～
応募・利用方法	※要件や手続きの詳細については、下記までお問い合わせください

### ■ その他のサポートメニュー

#### ● 磐田市公式LINE

LINEサービスによる事業者向け等の情報提供。  
磐田市ホームページより「磐田市LINE公式アカウント」で検索。

#### ● 磐田版おせっかい事業

支援機関の専門家などと事業者の皆さまの課題解決に向けたサポート。

お問い合わせ先 磐田市 産業政策課  
☎0538-37-4904 <https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

## 湖西市

### ■ 湖西市中小企業経営力向上事業費補助金

対象事業	①販路拡大事業：販路の拡大を目的に湖西市外の展示会・見本市等に出展する事業 ②DX推進事業：生産性向上を目的としたデジタル技術の導入事業
支援内容	①補助率：2/3、補助上限額：開催地により5万～25万円 ②補助率：1/2、補助上限額：30万円

お問い合わせ先 湖西市 産業振興課 モノづくり推進室 ☎053-576-0018

### ■ 湖西市事業所用太陽光発電システム導入支援補助金

支援内容	事業者が事業所に太陽光発電システムを導入する事業にかかる経費の補助
対象額	6万円/kw、上限300万円

### ■ 湖西市脱炭素化促進事業資金利子補給

支援内容	中小事業者が実施する省エネ設備等導入のための借入れに対して、利子補給する
対象額	年利0.5%相当分 対象融資上限3000万円

### ■ 湖西市事業用低公害車購入等費用支援補助金

支援内容	事業者が市内の事業所で使用する低公害車の購入又はリースに係る経費の補助
対象額	車種により5万円または15万円

お問い合わせ先 湖西市 環境課 脱炭素推進係 ☎053-576-4921

## 袋井市

### ■ ふくろい産業イノベーションセンター(コワーキングスペース「BIRDS」)

袋井市と静岡理工科大学を中心に、商工団体や金融機関の産学官金が一体となり、人口減少やデジタル化の急速な進展など、時代の変化に対応した「稼ぐチカラ」の高い中小企業の創出に向けて取り組んでいくため、令和3年4月、静岡理工科大学内に開設した産業支援機関です。大学と地域企業等との共同研究開発の促進をはじめ、現場の困りごとや「あったらいいな」などのアイデアの具体化に向け、共創による試作品の製作や実証事業など、製品化に向けた開発の支援に取り組んでいます。

お問い合わせ先

ふくろい産業イノベーションセンター(コワーキングスペース「BIRDS」)  
☎0538-44-3136 E-mail:sangyou@city.fukuroi.shizuoka.jp  
https://www.sist.ac.jp/social/inds/fiic/index.html

## 菊川市

### ■ 菊川市産業支援センターEnGAWA(エンガワ)

地域中小企業者等の経営や創業、操業、事業承継の相談に対し、各支援機関や専門家と連携した適切なアドバイスを実施するとともに、セミナー等のイベント開催による情報提供により地域事業者の経営改善等の取り組みを促進し、菊川市経済の活性化を図るため、令和6年3月に「菊川市産業支援センターEnGAWA」を開設しました。また、施設内にはコワーキングスペースやカフェも設置するとともに常駐するコミュニティマネージャーがビジネスマッチングを支援してまいります。  
〈支援センターの主な業務〉①創業、操業、事業承継等相談、②セミナー・イベントの開催、③コワーキングスペースの運営等

### ■ 創業支援補助金

菊川市内で新たに起業・創業する方に対し、事業の準備等に要する経費の一部を補助します。

対象者	市内に主たる事務所又は事業所を有する創業者
支援内容	〈対象経費〉法人設立及び商号登録に係る申請資料作成経費、賃料、改装費、キャッシュレス導入経費 等 〈補助上限額〉50万円 〈補助率〉対象経費の1/2以内
募集期間	2026年8月頃～9月頃

### ■ 経営基盤強化補助金

地域中小企業が経営基盤強化のために新たな販路拡大及びBCP対策に要する経費の一部を補助します。

対象者	市内に事務所又は事業所を有する中小企業
支援内容	〈対象経費〉市場調査費、IT導入費(越境ECサイト構築)、広告費、展示会出展費、多言語対応、BCP策定 コンサル料、BCPに基づく備蓄品の購入費 等 〈補助上限額〉10万円 〈補助率〉対象経費の1/2以内
募集期間	2026年4月頃～

### ■ ICT関連企業及びスタートアップ企業等サテライトオフィス設置事業費補助金

対象者	以下の要件を満たす、市外に本社又は主たる事業所があり、菊川市内に新たにサテライトオフィスを設置しようとする事業者 ・開設したサテライトオフィスにおいて業務を3年以上継続する見込みがあること ・開設したサテライトオフィスにおいて従業員が1名以上常駐し就労していること ・情報通信業又は菊川市ビジネスコンテスト参加者のうち1次審査通過者 等
支援事業	①サテライトオフィスを開設するための改修及び改築、附帯設備の設置に要する経費(工事費に限る) ②サテライトオフィス賃借料(敷金、礼金、共益費は除く)
支援内容	①工事費の1/2以内、上限100万円(1事業者1回限り) ②賃借料の1/2以内、最長12ヶ月、上限月額6万円
募集期間	2026年4月～

※各補助金の申請は、必要書類を菊川市産業支援センターまで提出してください。詳しくは、ホームページをご覧ください。  
※サテライトオフィス設置事業費補助金に関しては、事前に菊川市産業支援センターまでご相談ください。

### ■ その他のサポートメニュー

- 菊川市小口資金融資利子補給制度 ● 菊川市短期経営改善資金融資利子補給制度
- 市内中小企業者等に必要資金を融資した金融機関に対し、利子補給金を交付する。

お問い合わせ先

菊川市 建設経済部 産業支援センター  
☎0537-35-0930 https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/

## 掛川市

### ■ 掛川市企業情報サイト「カケジョブ」

掛川市での就職を考えている学生や求職者に向けて、市内企業の魅力や職種情報を発信するための企業情報サイトです。掲載する情報はLINEと連携し、スマホ等で手軽に情報収集できます。

対象:掛川市内に本社または事業所等がある企業(詳しくは、右記特設ページで▶<https://kakejob.com/companyapply/>)

### ■ ビジネスチャンス相談窓口

支援内容	創業相談を実施します。創業後の経営でお悩みの方の相談にも対応します。独立・開業に必要な基礎知識や、資金調達方法、販路開拓まで、ワンストップで支援する窓口です。 (会場)掛川中央図書館 会議室A (申込) <a href="https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9257.html">https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9257.html</a>
------	--

### ■ 新たなビジネススタイル応援事業費補助金

支援内容	新たなビジネススタイル整備支援事業 (1)デジタルシフトに必要な改修費(ECサイト(オンラインショップ)の開設、業務のペーパーレス化を図るシステム、事業所内のインターネット回線改修等) (2)キャッシュレス化に必要な費用(セルフレジ導入、キャッシュレス決済設備) URL: <a href="https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/71849.html">https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/71849.html</a>
------	---

- その他のサポートメニュー 「掛川市小口資金利子補給制度」「掛川市中小企業短期経営改善資金利子補給制度」

お問い合わせ先

掛川市 産業観光課  
☎0537-21-1125 <https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>

## 御前崎市

### ■ 御前崎市企業誘致並びに市内企業育成資金利子補給制度

対象者	御前崎市が誘致する企業及び市内に事業所を有する原則として商工会員の企業 ただし、中小企業基本法で規定する小規模企業者を除く(市税等を滞納していないことが条件)
対象事業	・市が誘致する企業:1億円以上の設備資金に関するもの ・市内に事業所を有する企業:300万円以上の設備資金に関するもの(土地取得、敷地造成、自動車、太陽光発電設備等は原則除外。その他幹事会で認めたものはこの限りではない) ・上記設備資金の2年以上の借入 ・その他実際に設備したものの支払に充てるために、設備以降に融資を受けたものも融資対象とする
支援内容	〈対象限度額〉融資額70億円以内 〈利子補給率〉対象となった融資額の利子の4/10以内 ただし、御前崎市内に本店又は支店を有する民間金融機関からの融資の場合は、5/10以内とする。又は、借入れ資金の金利が7%を越える場合は、下記計算式によって算出された額の4/10以内とする (なお、今後の金利状況によっては変更あり) ※計算式・・・支払利息÷借入れ資金の金利×7 (利子補給期間)最大36ヶ月
募集期間	2026年度の募集期間は未定(1月中旬～下旬予定)
応募・利用方法	必要書類を御前崎市商工観光課企業港湾室まで提出 ※事前に御前崎市商工観光課企業港湾室までご相談ください

お問い合わせ先

御前崎市 商工観光課 企業港湾室  
☎0537-85-1164 <https://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/>

## 森町

### ■ 森町小口資金利子補給制度

対象者	①申込日現在、引き続き6ヶ月以上同一事業を森町内で営んでいるもの ②常用従業員が30人(商業又はサービス業は10人)以下のもの ③事業税、県民税及び町税について、本制度の申込日以前において納期が到来した税額を完納しているもの ④信用保証協会の信用保証対象資格があるもの ⑤本制度に係る融資の債務がないもの
支援内容	〈資金使途〉事業資金(設備・運転資金) 〈融資限度額〉1中小企業者につき700万円以下 〈融資期間〉5年以内 〈融資利率〉年1.8%(町が0.28%を利子補給した後の利率) 〈返済方法〉元金均等割賦償還(据置3ヶ月以内) 〈連帯保証人及び担保〉信用保証協会の定めによる 〈信用保証料〉信用保証協会の定めによる
募集期間	随時
応募・利用方法	県内各金融機関にてご相談ください

お問い合わせ先

森町役場 産業政策課  
☎0538-85-6319 <https://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>

# 経済産業省の支援メニュー

## 中小企業等経営強化法 経営力向上計画

「経営力向上計画」は、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や設備投資など、自社の経営力を向上するために実施する計画です。認定された事業者は、税制や金融の支援等を受けることができます。また、計画申請においては、経営革新等支援機関のサポートを受けることが可能です。

対象者	特定事業者等(中小企業・小規模事業者・中堅企業)
制度内容	<p>〈概要〉 経営力向上計画の認定を受けると、認定計画に基づき取得した一定の設備に係る法人税等の特例、認定計画に基づき行った事業承継等に係る不動産取得税の特例、認定計画に基づき行った事業承継等に係る準備金の積立(損金算入)の措置を利用することができるほか、政策金融機関の融資、民間金融機関の融資に対する信用保証、債務保証等の資金調達に関する支援を受けることができます</p> <p>〈支援措置〉 ①生産性を高めるための設備を取得した場合、中小企業経営強化税制(即時償却等)により税制面から支援 ②計画に基づく事業に必要な資金繰りを支援(低利融資・信用保証等) ③認定事業者に対する一部補助金における優先採択 ④他社から事業承継等を行った場合、不動産の権利移転に係る不動産取得税を軽減 ⑤事業承継等に係る準備金の積立(損金算入) ⑥事業承継等に係る設備を取得した場合、中小企業経営強化税制(即時償却等)により税制面から支援 ⑦業法上の許認可の承継を可能にする等の法的支援</p>
応募・利用方法	事業者が経営力を向上させたい各事業分野の主務大臣(地方支分部局)へ申請書を提出 申請は随時受付中

お問い合わせ先 経営力向上計画の申請及び中小企業等経営強化法に基づく税制措置について  
中小企業税制サポートセンター ☎03-6281-9821(平日 9:30~12:00、13:00~17:00)  
<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/index.html>

## 省エネルギー設備への更新支援

工場・事業所の設備更新にあたっては、省エネ機器への更新により、エネルギーコスト高対応と、カーボンニュートラルに向けた対応を同時に進めていくことが重要です。そのため、「工場全体の省エネ」、「一部の製造プロセスの電化・燃料転換」、「リストから選択する機器への更新」、「エネルギーマネジメントシステムの導入」の4つの類型で企業の投資を後押しします。

対象者	全業種の法人及び個人事業主 ※ただし、大企業については、「省エネ法の事業者クラス分け評価制度においてSクラス事業者又はAクラス事業者」であること、又は中長期計画書にベンチマーク目標を達成する見込み及びその投資計画等を記載していること(令和6年度補正事業実績)
対象事業	<p>●省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業 (I)工場・事業場型 (II)電化・脱炭素燃転型 (III)GX設備単位型(トップ性能枠、メーカー強化枠) (IV)エネルギー需要最適化型</p> <p>●省エネルギー投資促進支援事業 (III)設備単位型 (IV)エネルギー需要最適化型</p>
支援内容	(I)設計費、設備費、工事費 (II)設備費(電化の場合は付帯設備も対象) (III)設備費 (IV)各型と組み合わせ、又は単体で使用 ※(II)のうち水素対応設備への対応は新設も補助対象 ※(III)のうちトップ性能枠は新設も補助対象
募集期間	1次公募は2026年3月30日(月)より受付開始予定
応募・利用方法	詳細は後日、一般社団法人環境共創イニシアチブHPに公開

お問い合わせ先 一般社団法人環境共創イニシアチブ 事業第1部  
(I)[工場・事業場型] 先進枠 ☎03-5565-3840  
一般枠/中小企業投資促進枠/サプライチェーン(SC)連携枠 ☎03-5565-4463  
(II)[電化・脱炭素燃転型] ☎03-5565-3840  
(III)[GX設備単位型][設備単位型] ナビダイヤル ☎0570-01-5116 IP電話からのご連絡 ☎042-303-0855  
(IV)[エネルギー需要最適化型] ☎03-5565-4773  
工場・事業場型(I、IV) <https://sii.or.jp/koujou7r/>  
設備単位型(II、III、IV) <https://sii.or.jp/setsubi7r/>

## 成長型中小企業等研究開発支援事業

経済産業省の「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)」は、中小企業者等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び販路開拓への取組を一貫して支援します。

対象者	主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業者等を含む、事業管理機関、大学・公設試などの研究機関等、アドバイザーによって構成される共同体
対象事業	主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業者等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等及び販路開拓への取組(「中小企業の特定期間のものづくり基盤技術及びサービスの高度化等に関する指針」を踏まえた研究開発等であること)
支援内容	<p>〈補助上限額〉 【通常枠】 補助事業あたり単年度4,500万円以下、2年度の合計で7,500万円以下、3年度の合計で9,750万円以下 【大型研究開発枠】 補助事業あたり単年度1億円以下、2年度の合計で2億円以下、3年度の合計で3億円以下 ※通常枠、大型研究開発枠ともに中小企業者等が受け取る補助金額が補助金総額の2/3以上であること</p> <p>〈補助率〉 (1)中小企業者：2/3以内 (2)大学・公設試等：定額 (3)課税所得15億円以上等の中小企業者等又は中小企業者等の定義に該当するNPO法人※：1/2以内 ※中小企業者等の定義に該当しない場合は補助対象外。</p>
募集期間	2026年2月16日(月)~4月17日(金)【17時締切】
応募・利用方法	公募要領等は中小企業庁のホームページに掲載しています

※本事業は、令和8年度当初予算案に基づくものです。本事業の実施は、当該予算案の可決・成立が前提となっており、今後の国会審議等を踏まえ、事業内容等が変更される可能性があります。予めご了承ください。

お問い合わせ先 関東経済産業局 産業部 製造産業課 ☎048-600-0307  
<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>

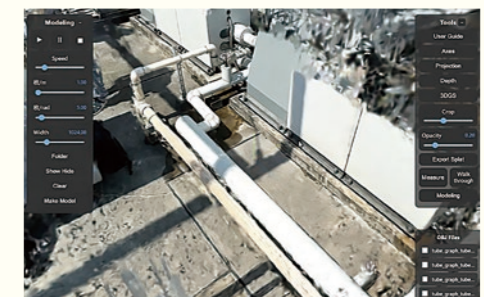
### Go-Techナビ ニーズに合わせてGo-Tech情報を提供するマッチングWEBサイト

Go-Tech事業を通じて開発された技術の探索が可能であり、サポイン・Go-Tech企業と連携したい方にもご活用いただけます。 <https://www.chusho.meti.go.jp/sapoin/index.php>

### 活用事例 株式会社ゾディアック 〈浜松市中央区〉

#### 配管インフラ保守作業の精度と効率を飛躍的に向上させるデジタル3D野帳システムの開発

昨今設備の劣化が深刻な問題となっている上下水道等の配管インフラ分野では、従来型のデジタルツイン技術は適用困難で、保守作業では非効率なアナログ記録(野帳)が主流となっています。独自のデジタル・エンジニアリングを中心に、ものづくりの課題解決に取り組んでいる(株)ゾディアックでは、当財団の支援を受け「次世代産業関連プロジェクト等革新技術創出補助金」に採択され、スマホから自動で3D配管図面と周囲3Dモデルを生成する「デジタル3D野帳化」の研究開発を実施しています。研究開発成果により現場作業の精度と効率が飛躍的に向上し、配管インフラ保守の生産性向上が期待されています。



### 研究開発推進のための補助金活用セミナー(2026年12月予定)

中小企業の研究開発・試作品開発および実用化などを支援するための各種補助金に関するセミナーを開催します。

対象者	国等の各種研究開発型補助金の獲得を目指す中小企業 など
参加費	無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円
定員	50名

●各種補助金獲得に向けた個別相談は随時受け付けています。下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ  
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

# 静岡県の支援メニュー

## 静岡県の補助金支援

### ■ 新成長産業戦略的育成事業助成

成長分野(次世代自動車、新エネルギー、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境技術関連、ナノセルロース)をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品の実用化を目指した研究開発等の取組に対し、その開発費を助成します。

対象者	県内の中小企業等(次世代自動車関連については、中堅企業も対象となります。)
対象事業支援内容	<p><b>【研究開発助成】</b></p> <p>①産学官連携型 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学、県内公設試験研究機関と連携して行う事業 〈補助額〉単年度:上限1,000万円、2年間合計:上限2,000万円 〈助成率〉2/3 〈助成期間〉2年以内</p> <p>②一般型 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う事業 〈補助額〉単年度:上限500万円 〈助成率〉2/3 〈助成期間〉1年以内</p> <p><b>【事業化助成】</b> 成長分野に関する研究成果を活用し、事業化に向けたさらなる研究開発等の取り組みを行う事業 ※事業終了後1年以内に対象製品の販売が見込めるもの 〈補助額〉単年度:上限1,500万円、2年間合計:上限2,250万円 〈助成率〉1/2 〈助成期間〉2年以内</p>
募集期間	2026年4月1日(水)～5月8日(金)正午 ※提出前に(公財)静岡県産業振興財団への事前相談必須
応募・利用方法	補助事業の内容や、申請書類、交付要綱等は、(公財)静岡県産業振興財団のホームページに掲載しています

お問い合わせ先 公益財団法人静岡県産業振興財団 研究開発支援チーム  
☎054-254-4512 <https://shizuoka-shinseicho.jp/>

### ■ 中小企業等カーボンニュートラル促進事業費補助金

県内に設置する事業所における全体での年間エネルギー使用量が原油換算で1,500klに満たない法人及び個人事業主が行う、省エネ効果5%以上の省エネルギー設備・機器の導入(更新)・断熱設備の改修に対して補助します。

支援内容	<p><b>【省エネ設備導入支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素スタート枠(年間エネルギー使用料300kl未満) 〈補助額〉上限200万円(下限20万円) 〈補助率〉対象経費の1/3</li> <li>・大規模削減枠(年間エネルギー使用量300kl以上1,500kl未満) 〈補助額〉上限1,000万円(下限20万円) 〈補助率〉対象経費の1/2</li> </ul> <p><b>【再エネ設備導入支援】</b> 〈補助額〉太陽光:4万円/kw、蓄電池:5.3万円/kw円 〈補助率〉定額蓄電池は1/3以内</p>
------	--

※募集期間・応募方法等、詳しくは静岡県のホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 静岡県 暮らし・環境部 環境局 環境政策課 E-mail: kankyouseisaku@pref.shizuoka.lg.jp  
<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kankyo/energy/1016064.html>

### ■ 中小企業等収益力向上(賃上げ環境整備)事業費補助金

中小企業・小規模事業者の収益力向上と持続的発展を図り、賃上げの継続と成長を促進するため、経営環境の変化に対応し、独自の技術やサービス展開を目指す取組に対して助成します。

対象者	県内に主たる事務所(又は主たる事業所)を有する中小企業者等
対象事業支援内容	<p>①<b>通常枠</b> 付加価値の向上を目標とする事業計画を策定して行う下記の事業 (1)承認された経営革新計画に基づく事業 (2)収益力や生産性の向上につながる自社にとって新たな事業 〈補助額〉上限500万円(下限50万円) 〈補助率〉1/2 〈助成期間〉1年以内</p> <p>【所定の賃金引上げ要件該当者】 〈補助額〉上限700万円(下限50万円) 〈補助率〉2/3 〈助成期間〉1年以内</p> <p>②<b>DX推進枠</b> 上記(1)又は(2)の事業で、デジタル技術(AI、ICT、IoT、ビッグデータ、RPA等)を活用した新たな商品・サービスの開発、業務の効率化・高度化等に取り組む事業 〈補助額〉上限700万円(下限50万円) 〈補助率〉1/2 〈助成期間〉1年以内</p> <p>【所定の賃金引上げ要件該当者】 〈補助額〉上限1,000万円(下限50万円) 〈補助率〉2/3 〈助成期間〉1年以内</p>
募集期間	1次募集:2026年4月1日(水)～2026年5月15日(金)予定 2次募集:2026年6月1日(月)～2026年6月30日(火)予定
応募・利用方法	補助事業の内容や、申請書類、交付要綱等は、(公財)静岡県産業振興財団のホームページに掲載しています

お問い合わせ先 公益財団法人静岡県産業振興財団 経営革新支援チーム  
☎054-273-4480 [https://www.ric-shizuoka.or.jp/keiei/shuekiryoku\\_chinage.html](https://www.ric-shizuoka.or.jp/keiei/shuekiryoku_chinage.html)  
静岡県 経済産業部 商工業局 経営支援課  
☎054-221-2526

### ■ 小規模企業経営力向上事業費補助金

県内の小規模事業者を対象として「新たな需要の開拓」又は「生産性の向上」を目指して行う工夫・改善による新たな取組に対して助成します。

対象者	県内の小規模事業者(ただし、過去に経営革新計画の承認を受けた事業者、及び当該小規模企業経営力向上事業費補助金を受けて事業を実施した事業者は除きます。)
対象事業支援内容	以下の要件のすべてを満たすもの (1)自社がこれまでに行ったことがないもの又は既存のものを大幅に改善するもの (2)新たな需要の開拓又は生産性の向上を目指して行うもの (3)経営革新計画の承認取得を目指す3年間の経営ビジョンを策定した上で行うもの 〈補助額〉上限50万円 〈補助率〉2/3
募集期間	1次募集:2026年3月2日(月)～2026年4月20日(月) 2次募集:2026年5月11日(月)～2026年6月22日(月) (注)2次は予定です
応募・利用方法	補助事業の内容や、申請書類、交付要綱等は、静岡県のホームページに掲載しています <a href="https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/1047031/1028489.html">https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/1047031/1028489.html</a>

お問い合わせ先 県内最寄りの商工会・商工会議所

### ■ ファルマバレープロジェクト推進事業費助成

静岡県及び山梨県内企業と連携し、医療健康分野の研究開発成果による新たな製品の早期上市を目指す取組や高齢者の自立支援、介護者の負担軽減等を目的とした介護機器、福祉用具等新たな製品の実用化に向けた取組を助成します。

対象者	県内の中小企業
対象事業支援内容	<p><b>【企業間連携医療機器等開発助成】</b> ※静岡県又は山梨県企業と連携して行う事業であること 〈補助額〉単年度:上限500万円、2年間合計:上限750万円 〈補助率〉1/2 〈助成期間〉2年以内</p> <p><b>【自立支援・介護支援機器等開発助成】</b> ※モデルルーム枠は既存モデルルームの高機能化に寄与する開発事業</p> <p>①<b>一般型</b> 〈補助額〉単年度:上限300万円 〈補助率〉1/2 〈助成期間〉1年以内</p> <p>②<b>モデルルーム枠</b> 〈補助額〉単年度:上限400万円 〈補助率〉2/3 〈助成期間〉1年以内</p>
募集期間	2026年4月1日(水)～5月8日(金)
応募・利用方法	補助事業の内容や、申請書類、交付要綱は、ファルマバレーセンターのホームページに掲載しています

お問い合わせ先 ファルマバレーセンター 事業推進部  
☎055-980-6333 <http://www.fuji-pvc.jp/>



# Support 中小企業基盤整備機構 の支援メニュー

## 経営アドバイス

### ■ 窓口相談(無料)

各分野の専門家を配置しており、人事・財務・法律・知的財産・カーボンニュートラル・IT関連、海外展開など、幅広い分野の経営課題についてご相談いただけます。

開設時間	中部本部(愛知県名古屋市)の相談窓口にお越しいただくか、オンラインでのご相談となります 月曜から金曜(祝祭日、年末年始は除く)9:00~17:00 ご相談内容と専門家の出勤日を調整のうえ、相談日時を決めさせていただきます		
相談時間	1回1時間程度で、何度でもご利用いただけます	相談料	無料(事前予約制)

お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部 企業支援課 ☎052-220-0516  
[https://www.smrj.go.jp/regional\\_hq/chubu/sme/consulting/index.html](https://www.smrj.go.jp/regional_hq/chubu/sme/consulting/index.html)  
 独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部 支援推進課(海外展開) ☎052-201-3068  
[https://www.smrj.go.jp/regional\\_hq/chubu/sme/overseas\\_consulting/index.html](https://www.smrj.go.jp/regional_hq/chubu/sme/overseas_consulting/index.html)

## 人材育成支援

### ■ 中小企業大学校瀬戸校

人づくりから、中小企業を支える...経営者・管理者向けの専門性の高い、実践的な研修を実施しています。また支援機関向けの研修も行い、中小企業の「人材育成」をサポートしています。

開催場所	中小企業大学校瀬戸校(愛知県瀬戸市)に研修施設がございますが、校外研修(サテライト・ゼミ)も実施しています。年に1回、浜松地域でもサテライト・ゼミを実施しています(2026年6月4日~5日を予定)
研修テーマ	組織マネジメント、企業経営・経営戦略、人事・組織、財務管理、営業・マーケティング、生産管理など
受講料	16,000円(1日間)~ 受講料は研修日数(研修時間数)によって異なります ※静岡県内でのサテライト・ゼミは11,000円(特別価格)を予定

お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部 中小企業大学校瀬戸校 研修担当  
 ☎0561-48-3401 (事業紹介ページ) <https://www.smrj.go.jp/institute/seto/index.html>

## インキュベーション事業(創業・新事業開発支援)

### ■ HI-Cube(浜松イノベーションキューブ)

中小機構では、全国で29施設のビジネスインキュベーション事業(BI事業)を運営し、起業を目指す個人やベンチャー企業、新事業展開に取り組む中小企業を支援しています。

浜松では、静岡県、浜松市と連携して、浜松市中央区和地山にBI施設(HI-Cube)を構え、事業活動のためのオフィス(研究室)・実験室を賃貸で提供するとともに、施設常駐のインキュベーションマネージャー(IM)が入居者の支援を行っています。

#### 〈HI-Cubeの概要〉

- 所在地: 浜松市中央区和地山3-1-7(静岡大学浜松キャンパス近く)
- 居室面積: 25㎡クラス、30㎡クラス、50㎡クラス、60㎡クラス 計47室
- 月額賃料: 94,864~243,936円(税込)  
※中小企業者、ベンチャー企業者などには、浜松市の賃料補助あり(要申請)
- 共用スペース: 商談室、会議室、交流スペースなど
- 契約期間: 当初5年以内
- 支援体制: 経営全般や技術などに精通するIMが常駐



お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 浜松イノベーションキューブ  
 ☎053-478-0141 <https://www.smrj.go.jp/incubation/hi-cube/index.html>



# 日本貿易振興機構(JETRO) の支援メニュー

## スタートアップ・イノベーション支援

脱炭素や次世代自動車などへの転換が迫られている昨今、ものづくり・エコシステムの拠点となっている海外の現地情報をセミナー形式でご提供し、現地関係機関・企業とのマッチング等も実施します。また、スタートアップ企業の海外展開(幅広い有力講師陣による講義、世界トップレベルのメンターネットワーク、海外投資家やパートナー候補企業とのマッチング等)を支援します。

ご相談事例	・海外でのものづくり分野におけるイノベーションの取り組みを知りたい ・海外企業とのオープンイノベーションに関心があり、海外企業とつながりたい ・海外VCからの資金調達も見据え、プレゼン能力を向上させたい
費用	無料 ※一部参加にあたっては審査があります

詳細はこちら ▶ <https://www.jetro.go.jp/themetop/innovation/>



## J-Bridge

日本企業とスタートアップ等の海外企業の国際的なオープンイノベーション創出のためのビジネスプラットフォームです。海外企業とのアライアンス(業務提携・技術提携・出資・合併事業設立等)やM&Aにより、ビジネス開発や新規事業創出等を目指す日本企業、大学、研究機関などのみなさまをサポートします。

ご相談事例	・海外企業との連携・協業を通じ、新規事業創出やオープンイノベーション創出をめざしたい
費用	無料 ※一企業につき複数名様の会員登録も可能。事前審査制

詳細はこちら ▶ <https://www.jetro.go.jp/j-bridge>



## 高度外国人材活躍推進事業

日本人の労働人口が減少しつつある中で外国人材は貴重な企業の戦力になりつつあります。ジェトロでは特に高度外国人材を必要とする企業をサポートし、ニーズや目的に合わせて伴走型支援でコーディネータがアドバイスや情報を提供します。

ご相談事例	・高度な人材がない、また、イノベーションを推進できる人材がないので高度外国人材を採用したい ・将来的に海外進出も検討していきたいので、海外を知っている高度外国人材を採用したい
費用	無料 ※事前審査制、年度単位のご支援です。(上限は3年間)

詳細はこちら ▶ <https://www.jetro.go.jp/hrportal/>



## ハンズオン支援

海外ビジネスに精通した専門家(パートナー)が、継続的な企業訪問・海外出張同行を通じて、海外展開計画の作成支援から海外販路開拓、立ち上げ、操業支援まで一貫して支援します。

ご相談事例	・海外へ輸出をしたいが、どのように進めていけばよいか分からない ・海外で工場や現地法人を立ち上げたい ・代理店契約を締結したいが、経験がないので一貫した支援が欲しい
費用	無料 ※事前審査制、年度単位のご支援です。 ※一部有料となる部分がございます

詳細はこちら ▶ <https://www.jetro.go.jp/consortium/apply/partner.html>



お問い合わせ先

ジェトロ浜松 ☎053-450-1021 E-mail:HMM@jetro.go.jp

# 静岡県中小企業団体中央会の支援メニュー

## 組合・連携グループ支援

### ■ 組合設立支援・組合運営支援

静岡県中小企業団体中央会（法律に基づく中小企業組合の専門支援機関）では、複数の中小企業が集まり「組合」を設立し、共同事業を利用することで、共通の経営課題を克服するなど中小企業・小規模事業者の成長・発展を支援しております。組合設立から運営支援の他、人材確保・育成や事業承継、BCP策定や経営革新など、中小企業の経営課題について幅広くご相談に対応いたします。

組合のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携した取組みによりビジネスチャンスや付加価値向上につながります</li> <li>・「資本」ではなく「人（組合員）」を重視した組織です</li> <li>・行政の認可法人であり信用度が高まることが期待できます</li> <li>・税制上の優遇措置があります（中協法に基づく登録免許税、組合内の印紙税の非課税など）</li> <li>・専門支援機関（中央会）による、運営に関する助言や補助事業の利用などの支援が受けられます</li> </ul>
組合事業の例	<p>〈共同購買事業〉 組合員（傘下企業）が使用する共通の資材、消耗品等を組合がまとめて購入し、組合員に供給することでスケールメリットを活かした仕入価格の引き下げによる経営合理化を目的とした事業です。</p> <p>〈共同受注事業〉 組合が窓口となって注文を受け、組合員が分担して業務を行うことで、1社では受けられない大口発注、大型工事等の受注や取引条件の改善などを旨とする事業です。</p> <p>〈共同販売事業〉 組合員が製造、生産した製品または商品を組合がまとめて販売し、取引条件の改善や大口需要への対応、組合ブランドを活かしたビジネスチャンスの拡大を目指す事業です。</p>

お問い合わせ先 静岡県中小企業団体中央会 西部事務所  
☎053-453-2195 <https://www.siz-sba.or.jp/>

# 浜名湖国際頭脳センターの支援メニュー

## 人材育成支援

株式会社浜名湖国際頭脳センターでは、企業のDX推進・デジタル化を人材育成から支援しています。とくに、近年のデジタル環境を踏まえ「生成AI」「セキュリティ」「DX資格取得」の3つのテーマに重点を置き、基礎から実践まで、また研修形式も集合・オンライン・動画配信など、参加しやすさや受講効果を考慮し、人材育成の場を提供しております。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業のDX推進・デジタル化での人材育成支援（研修・講座など） 「生成AI」：エンジニア向け生成AI活用演習、AIエージェント開発演習、ノーコード開発など各講座 「セキュリティ」：セキュリティ基礎、エンジニア向けサイバーセキュリティ対策、社内体制構築など各講座 「DX資格取得」：ITパスポート講座、G検定講座など各講座 「その他」：オブジェクト指向設計などエンジニア向けスキル講座</li> <li>● マネジメントスキル研修、生産管理・品質管理など製造業向け研修など</li> </ul>
------	--

お問い合わせ先 株式会社浜名湖国際頭脳センター IT事業部 ソフト人財開発課  
☎053-416-4000 <https://www.hamanako.jp/> E-mail:jinzai@hamanako.co.jp

# 静岡大学の支援メニュー

## 産学連携支援



静岡大学では、多様な産学連携メニューを通じて産業界との協働を強化し、大学で創出された「知」を社会へ還元しています。これらの取組みにより、研究開発の活性化と成果の最大化を図り、地域イノベーションの創出を推進しています。技術課題や産学連携に関するご相談など、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳細はこちら ▶ <https://www.oisc.shizuoka.ac.jp/company/>

お問い合わせ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
☎053-478-1702 E-mail:sangakucd@adb.shizuoka.ac.jp

# 光産業創成大学院大学の支援メニュー

## 技術課題解決及び研究開発支援

光産業創成大学院大学は、光技術を活用した新産業の創出を目的として設立された大学院大学です。地域のものづくり企業の皆さまに向け、積極的に支援を行っています。

- 研究開発支援  
本学へ入学して技術課題解決に向けた研究開発を教員と進め、その研究成果を博士論文として纏めることで博士号が取得可能です。
- 人材育成支援  
光技術や機械学習など、最先端の技術を活用した新規事業創出や技術課題解決に向け、経営者及び社員に対する人材育成支援を実施しています。
- 技術相談（無料）  
貴社の課題解決に向け、光技術の活用について無料技術相談を受け付けています。

お問い合わせ先 光産業創成大学院大学 事務局 ☎053-484-2501 <https://www.gpi.ac.jp/>  
お問い合わせフォーム：<https://www.gpi.ac.jp/inquiry/>



# 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター の支援メニュー

浜松工業技術支援センターは、県内産業の技術支援を目的に設置された静岡県工業技術研究所の中で、主に西部地域を中心に企業の皆様の技術開発や技術向上を支援しています。



静岡県AI・IoT推進ラボサテライト浜松



金属3Dプリンタ

## 相談支援(無料)

- ・工業技術に関する一般的な相談対応から現地での指導、また、オンラインミーティングでの相談対応ができます。
- ・産学官連携や外部研究機関、支援機関との連携など、センターだけでは解決できない課題についてコーディネートによる支援を行います。

## 試験・分析支援(有料)

- ・依頼試験による支援(有料)/製品や原材料などの分析・測定、各種試験を研究所の職員が行い、結果をお知らせします。
  - ・設備の使用による支援(有料)/自身で測定を行いたいといった企業の皆様には、センターが所有する機器を御利用いただくことができます。初めて使用される機器については、職員が使用方法をお教えいたします。
- ※主な保有機器：多関節アーム型3Dスキャナ、車載機用EMC試験機器、金属3Dプリンタ、熱構造解析システム、計測用X線CT など

## 研究・開発支援

- ・研究所が持つ技術や設備を活用し、企業と共同で研究開発を行います。
- ・受託研究による支援(有料)/企業が抱える課題の解決や原因の究明などについて、研究所が委託を受けて、取り組みます。

### デジタルものづくりセンター

ものづくりの現場にデジタル技術を導入して製品開発を効率化・高度化する動きが加速しています。県内中小企業のデジタル技術のボトムアップを図り、次世代自動車部品等の開発を推進することを目的として令和5年9月、デジタルものづくりセンターを開設しました。形状最適化シミュレーション及び金属3Dプリンタ、そして令和6年度に導入した多関節アーム型3Dスキャナなどを活用し、企画・設計から成形・加工、計測・評価まで製品開発過程で一貫したデジタルものづくりを支援します。また、セミナーや少人数での実践的なワークショップを定期的で開催しています。

### 静岡県AI・IoT推進ラボ

県内中小企業へのIoT導入支援拠点として、工業技術研究所内に開設し、そのランチとして令和3年11月にサテライト浜松及びサテライト沼津が開設されました。展示体験室では、御協力いただいた企業の最新技術が体験できるとともに、静岡、沼津、浜松の各拠点から他の拠点を見学することもできます。また、研修室では、AIやIoTの知識を理解していただくための実践的なセミナーや実習を開催していきます。

### その他の支援

- ・新しい技術の紹介や企業ニーズに対応した講習会や研究会を開催します。
  - ・ウェブサイトやメールマガジン、刊行物により、新規導入機器や関係機関の助成金などの支援情報を紹介します。
  - ・企業の方や学生などを研修生として受け入れ、民間企業の人材育成、学生の就業体験等を支援します。
- ご質問、ご要望など、お気軽に御相談ください。

お問い合わせ先 浜松工業技術支援センター  
☎053-428-4152 <https://www.iri.pref.shizuoka.jp/>

### 静岡県内その他の公設試験研究機関(工業)

静岡県工業技術研究所(本所) ☎054-278-3028 【特徴的な分野】食品、環境エネルギー、生活製品  
富士工業技術支援センター ☎0545-35-5190 【特徴的な分野】製紙、CNF(セルロースナノファイバー)  
沼津工業技術支援センター ☎055-925-1100 【特徴的な分野】バイオテクノロジー



# はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 (はままつ医工連携拠点)の支援メニュー

ものづくり地域「浜松」の高い技術力・開発力と医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合により、健康・医療産業の事業化を推進し、連鎖的・継続的な地域イノベーションの創出を目指します。

## 医療・介護ニーズの発掘と育成

医療・介護現場との情報交換会・医療現場見学会を開催し、主に現場医師・技師など医療従事者から、医療現場の課題(医療ニーズ)について紹介、意見交換を行い、ニーズを発掘する機会を提供しています(2回程度/年開催)。

●これらの活動は、浜松商工会議所にある浜松医工連携研究会との連携・協力により実施されています。

## スタートアップ支援事業(静岡県産業振興財団「新成長産業戦略的育成事業」)

医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、事業化可能性の高いアイデアを有する地域の中小企業に対して、本格的な研究開発のための公的資金や競争的資金の申請に向けた「アイデアの実現性の検証」を委託し、医工連携のスタートアップを図る事業を実施しております。

※令和7年度は以下の通りです。

対象者	静岡県内に主たる事務所、事業所を有する中小企業者
対象事業	健康医療分野の課題やニーズの解決を目的とする新しい医工連携プロジェクトであって、1~6ヶ月程度でアイデアの実現性の検証が完了するもの
対象経費	物品材料費、外注加工費、委託費、借損料、ソフトウェア開発
委託経費	1課題100万円以内
募集時期	2025年5月1日(木)~5月30日(金)

※令和8年度も同様に実施予定。詳細はHPにて掲載します。

## セミナー・フォーラム開催

健康医療産業への参入を希望する企業や医工連携を支援する人材を対象としたセミナー(メディカル塾等)や、地域全体で医工連携の推進について考えるメディカルイノベーションフォーラム等を開催しています。

## 医工連携出合いのサロン(静岡県産業振興財団「新成長産業戦略的育成事業」)

静岡県内で創出された医療・介護関連機器や器具などを医療系の学会等の併設展示会に共同で出展することで医療関係者に紹介し、商品に対する意見を直接聴取する機会及び出展医療機器メーカーとのマッチングの場の提供をしています(1回/年開催)。

## 外部利用可能なイメージング装置・機器の設置

浜松医科大学では、イメージング技術を用いた基礎研究・臨床研究が盛んに行われており、様々なイメージング装置・機器が整備されています。学学連携・産学連携による研究開発に広く利用してもらえるように、イメージング装置を外部にも貸し出しを行っております。利用経験や専門知識のない方も安心してご利用いただけるように、条件設定から撮影まで支援する技術者や研究者を配置しております。

## 医療技術相談

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点では、医療従事者や専門知識を持ったコーディネータ等による技術相談を行っています。医工連携の相談はワンストップ窓口の我々が対応します。まずはお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点  
(国立大学法人浜松医科大学 医工連携拠点棟4階 株式会社はままつ共創リエゾン 内)  
☎053-435-2438 <http://www.ikollabo.jp/>

# カーボンニュートラル 対応支援

2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」を削減するとともに、森林などによる「吸収量」を差し引くことで、温室効果ガスを実質的にゼロにする「カーボンニュートラル(脱炭素・CN)」を我が国も目指しています。カーボンニュートラル社会を実現するため、ものづくり製造業でも製造時におけるCO2削減活動が求められています。CO2排出量の削減(温室効果ガス削減活動)をすることで、結果として気温の上昇を抑え、地球温暖化を防ぐことにつながります。今後、製造現場でのCO2削減対応が益々求められます。そこで、カーボンニュートラルに関する省エネ対応等、国をはじめとした行政機関や支援機関等の支援メニューの一部をご紹介します。

## ■ 製造時CO2削減活動の基本的な考え方

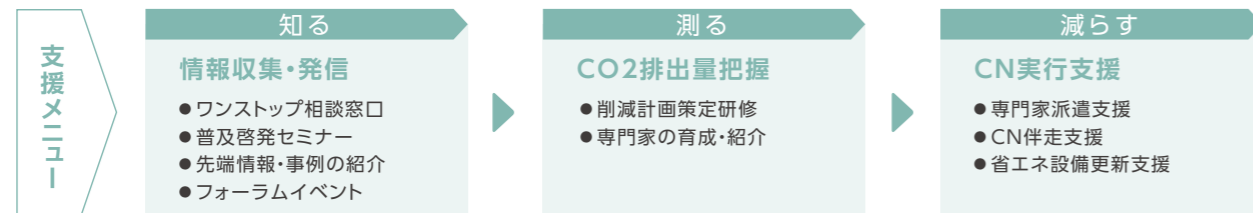
① 省エネルギー(省エネ)	燃料や電気の使用量を削減すること 〈例〉照明のLED化、エア漏れ修理、建物の断熱 等
② エネルギー転換(エネ転)	熱エネルギーをCO2排出が少ない方法に変更すること 〈例〉LPG→都市ガス、加熱方法の変更 等
③ 再生可能エネルギーの活用(再エネ)	再生可能エネルギーに変更すること 〈例〉太陽光発電 等
④ 電動化(電化)	動力源、装置などを電気で動作すること 〈例〉油圧設備の電動化、EV 等

中小企業が  
カーボンニュートラルに  
取り組むメリット

- 1.競争力の向上
- 2.コストの削減、生産性の向上
- 3.企業価値の向上
- 4.社員のモチベーション向上
- 5.有利な資金調達

## ■ 静岡県企業脱炭素化支援センター

企業脱炭素化支援センターでは、専門家によるワンストップ相談窓口を設け、企業の脱炭素化を支援しています。脱炭素化のステップである「知る」、「測る」、「減らす」の各段階に応じた多様な支援策をご用意しておりますので、まずはお気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 企業脱炭素化支援センター(公益財団法人静岡県産業振興財団内) 静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館4階  
☎054-273-4437 E-mail:innovate@ric-shizuoka.or.jp

## ■ はままつ脱炭素経営支援デスク

はままつ脱炭素経営支援デスクは、エネルギー管理士などを保有する脱炭素経営支援員が在籍し、カーボンニュートラル(脱炭素経営)に関する様々な相談に対応し、浜松市や地域支援機関などと連携しながら中小企業の脱炭素化への取り組みをサポートします。お気軽にお問い合わせください。(☎053-489-8111)

浜松地域脱炭素経営支援体制 (コンソーシアム参画機関)	浜松市、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、浜松商工会議所、 (株)静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫、(株)浜松新電力
--------------------------------	---

●ワンストップ相談窓口	脱炭素経営に向け、中小企業の様々な課題等に対する相談窓口を設置(脱炭素経営支援デスク)
●脱炭素支援員	地域中小企業の脱炭素経営の課題等に対し、エネルギー管理士等の資格を有する支援員が相談対応
●普及啓発	地域中小企業を対象とした省エネセミナーや業界別のセミナー・ワークショップの開催
●定例相談会・出張相談会	専門家による定例相談会及び地域中小企業の団体・組合等に対する出張相談会の開催
●専門家派遣	GHG見える化や省エネ等の取り組みに対し、知見を有する専門家を地域中小企業へ派遣

お問い合わせ先 はままつ脱炭素経営支援デスク(公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構内)  
☎053-489-8111 E-mail:cn@hai.or.jp https://www.hai.or.jp/



# 金融機関の支援メニュー

## ■ 地域金融機関のスタートアップ・中小企業支援

創業者の事業計画作成や資金調達支援、新事業展開に取り組む中小企業をサポートします。最寄りの各金融機関までご相談ください。

### ■ 静岡銀行 TECH BEAT Shizuoka

静岡県内企業と先端技術を持つスタートアップとの協業を通じて県内産業・経済の活性化や新たなビジネスの創出を図るプロジェクトです。DXや新規事業創出を検討している皆様は、是非ご活用ください。



時期	●全産業版イベント「TECH BEAT Shizuoka 2026」:2026年7月23日(木)~25日(土) 会場:グランシップ ●年間プログラム:随時(県内スタートアップ支援拠点と連携して各種ワークショップ等を開催予定)
----	---

お問い合わせ先 TECH BEAT Shizuoka実行委員会事務局(静岡県産業イノベーション推進課、静岡銀行地方創生部)  
☎054-345-9170(静岡銀行地方創生部 担当:井出・杉山) https://techbeat.jp/

### ■ 浜松いわた信用金庫 Co-startup Space & Community FUSE(フューズ)

FUSEは、事業を立ち上げようとする全ての人のために開設したイノベーションハブ拠点です。地域の人々やステークホルダーが集まり、知識や経験をシェアして、新たなコトやアイデアが融合する場(コワーキング、ファブスペース、イベントスペース等)を提供し、スタッフが伴走支援する拠点です。スタッフとメンバー(会員)間でイベント企画、プロジェクト立ち上げなど、FUSEでは人が繋がり新しいコトを起こしています。

会員制	随時会員募集中です。お気軽にお問い合わせください。 ①一般会員:月額11,000円 ②法人会員:月額33,000円 ③学生会員:月額2,200円 ※その他、貸個室・イベントスペースの料金等、詳しくはお問い合わせください。
所在地	浜松市中央区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館 地下1階
ご利用時間	月曜~金曜日/9:00~21:00 土曜日/9:00~17:00 ※日曜日・祝日は利用不可

お問い合わせ先 浜松いわた信用金庫 ソリューション支援部 新産業創造室「FUSE」  
☎053-450-7130 info@fuse-hamamatsu.jp  
https://hamamatsu-iwata.jp/business/sogyo/fusehamamatsu/



### ■ 遠州信用金庫 えんしんスタートアップ相談窓口(創業・起業相談)

創業・起業には、業種・業態選びからビジネスプラン・事業計画の作成、資金調達、会社設立のための様々な準備が必要です。遠州信用金庫では、創業初期段階の各種相談から創業資金の相談まで様々な相談を無料で受け付けております。

相談時間	平日9:00~17:00
相談内容	①創業初期段階の各種相談 ②各種支援制度、セミナー等の紹介 ③専門家派遣制度 ④創業資金調達の相談 ⑤その他・販路開拓など

お問い合わせ先 遠州信用金庫 経営サポート部(浜松市中央区中沢町81-18)  
☎0120-046-022(フリーダイヤル受付時間:平日9:00~17:00) FAX 053-472-2284  
k-support@enshu-shinkin.jp

### ■ 日本政策金融公庫 創業支援貸付利率特例制度

対象者	新たに事業を始める方または事業開始後税務申告を2期終えていない方(注)
資金使途	新たに事業を始める時又は事業開始後に必要となる事業資金(運転資金及び設備資金)
融資限度額	各融資制度に定める融資限度額
融資期間	各融資制度に定める返済期間以内

(注) ①他の融資制度と合わせてご利用いただく制度です。  
各融資制度に定める利率-0.65%ただし、雇用の拡大を図る場合は、各融資制度に定める利率-0.9%  
②一部ご利用いただけない融資制度があります。詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先 日本政策金融公庫 浜松支店 国民生活事業  
☎0570-049890 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/sogyo\_tokurei\_m.html